

2026年 6月 10日

放射線治療科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「骨・肺・肝病変における拡散強調画像（DWI）の見かけの拡散係数（ADC 値）測定における観察者間変動の評価：後ろ向き信頼性研究」についてのお知らせとお願い

放射線治療科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報・試料を用いた研究を行います。皆様のご理解をお願い申し上げます。

### 研究の目的

MRI の拡散強調画像（DWI）から得られる ADC 値は、がんの治療効果を判定する指標として使われています。しかし、ADC 値は測定する人によって数値が異なる場合があります。この研究では、骨・肺・肝のがん病変について、2名の測定者がそれぞれ独立して ADC 値を測定し、どの程度数値が異なるかを明らかにすることを目的としています。この結果は、将来の放射線治療効果判定の精度向上に役立てます。

### 研究期間

研究機関の長の研究実施許可日～2027年 12月 31日

### 研究の意義

MRI 検査から得られる「ADC 値」は、がんに対する放射線治療の効果を客観的に評価するための指標として注目されています。しかし、ADC 値は測定する人によって結果がわずかに異なることがあります。

この研究では、骨・肺・肝臓の病変について、複数の測定者による ADC 値の違いを調べることで、より正確で再現性の高い測定方法の確立を目指します。

本研究の成果により、将来のがん患者さんに対する放射線治療の効果判定の精度向上や、治療方針の決定に役立つことが期待されます。なお、本研究は既に撮影された MRI 画像を使用するため、患者さんに新たな検査や身体的負担が生じることはありません。

### 研究の方法

研究デザイン：後ろ向き観察研究

対象：2020年 4月 1日～2026年 3月 31日の間に、当科において DWI を含む MRI 検査を受けられた、骨転移・肺腫瘍・肝腫瘍のいずれかを有する患者さん（各部位 20例、計 60例を無作為抽出）、放射線治療を受けられた方

## 利用する情報・試料の種類

利用を開始する予定日：研究機関の長の研究実施許可日

研究に用いる情報：電子カルテ・画像システム（PACS）から既存の MRI 画像を取り出し、2名の研究者がそれぞれ ADC 値を測定・比較します。新たな検査や採血は一切行いません。MRI 画像（ADC 値）のみ。血液・組織等の試料は使用しません。

研究に用いる試料：該当なし

## 研究成果の取扱い

研究成果は、学会発表や論文として公表される可能性があります。個人が特定されることはありません。本研究の内容や研究結果等について質問等が生じた場合には以下の研究責任者まで問い合わせください。

## 個人情報の保護方法と情報・試料の取扱い

個人情報は研究用 ID に置き換えて管理します。対照表は研究責任者が施錠された場所にて保管します。

研究データ等は研究終了後 10 年間保管し、その後朝日大学の規則に従い廃棄します。

個人情報管理者

朝日大学歯学部長 玉置幸道

朝日大学病院長 日下義章

## 研究への使用について拒否をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。また、情報・試料が本研究に用いられることについて了承いただけない場合には使用しませんので、以下の研究責任者まで申し出ください。なお、本研究は、朝日大学病院医学倫理審査委員会において審査、承認され、研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への情報・試料の使用をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

## 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

本研究により生じる知的財産権（著作権、特許権など）は、研究者及び朝日大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起りえる利益相反」は存在しません。

## 問い合わせ先（研究責任者）

朝日大学病院 放射線治療科 教授 田中 修

電話番号：058-253-8001

**苦情窓口**

朝日大学病院 管理課

〒500-8523

岐阜県岐阜市橋本町 3-23

電話番号：058-253-8001



(2026年6月10日改定)